



<報道関係各位>

2025 年 10 月 31 日

CRITEO 株式会社

Criteo、エドゥアール・ディニシエールを 最高顧客責任者（CCO）に任命

～ディニシエールは、パフォーマンスメディア部門のグローバルセールスおよび事業運営を統括するリーダーとして、
クリテオの経営陣に参画～

コマースメディアを展開する Criteo(クリテオ、本社:フランス、日本代表取締役:グレース・フロム、以下 Criteo) は、2025 年 12 月 1 日付でエドゥアール・ディニシエール(Edouard Dinichert) を最高顧客責任者（Chief Customer Officer）に任命したことを発表しました。ディニシエールはニューヨークを拠点に、当社の CEO マイケル・コマシンスキの直下で、Criteo のパフォーマンスメディア事業におけるグローバルセールスおよびオペレーションを統括します。営業の強化に注力し、事業の成長を加速させ、クライアントの成功を Criteo のアプローチの中心に据えることを目指します。この任命は、当社によるクライアントの成功推進とパフォーマンス主導のイノベーションをグローバルに発展させるという継続的な取り組みを象徴するものです。

ディニシエールは次のように述べています。「Criteo は過去 20 年間にわたり、測定可能な確かな成果を提供してきました。その過程で、広告とコマースを結びつける統合的な存在へと成長しました。AI とデータインサイトの分野での革新とグローバルな影響力を兼ね備えたクリテオは、コマースジャーニーのあらゆる要素をつなぐ唯一の立場にあります。このチームに加わり、クライアントおよびパートナーと共に Criteo の次なる成長の波を牽引できることを非常に楽しみにしています」

ディニシエールは、クリエイティビティ、データ、そしてパフォーマンスを融合させたグローバルな組織のリーダーとして、20 年以上の業界経験を有しています。直近では、TripleLift 社の最高収益責任者（CRO）を務め、2024 年 7 月から 2025 年 1 月まで CEO オフィスの 3 名の執行責任者の一人として同社をリードしました。同社在任中には、リテールメディア、CTV（コネクテッド TV）、およびデータ主導型キュレーションを対象としたクリエイティブ SSP（サプライサイドプラットフォーム）事業を拡大させました。

それ以前はアマゾン社で 10 年以上勤務し、フランスにおける Amazon Advertising の立ち上げを主導した後、Amazon DSP、Amazon Ad Server（旧 Sizmek）、および Amazon Marketing Cloud の導入と成長を含むグローバル Ad Tech セールス & サービス組織を構築しました。AWS や他部門との密接な連携を通じて、CRM・メディア・アナリティクスを結びつけるプライバシー配慮型ソリューションの開発を推進し、代理店やパートナーとの API ファーストのイノベーションを促進しました。



Criteo の CEO のマイケル・コマシンスキは次のように述べています。「パフォーマンスメディアのグローバル展開とその影響力を拡大し続ける中で、エドゥアールのリーダーシップは顧客成長の加速に欠かせません。データ主導型組織の拡大と商業的卓越性を推進してきた彼の豊富な経験は、当社の成長をさらに加速させ、世界中のクライアントおよびパートナーにより大きな価値を提供することにつながるでしょう。フランスとスイスの二つの国籍を持つエドゥアールは、当社のヨーロッパのルーツとグローバルな志を体現する、真にクロスマーケットそしてクロスカルチャーな視点をもたらしてくれる存在です」

■Criteo (クリテオ) について■

Criteo (NASDAQ: CRTO)は、ブランド、広告代理店、小売業者、メディアオーナーのコマースエコシステムをつなぐグローバルプラットフォームです。AI を活用した Criteo の広告プラットフォームは、年間 1 兆ドルを超えるコマース売上高のデータを分析し、消費者とのつながりの強化、そして新たな商品やサービスの発見や高度にパーソナライズされた体験を実現します。世界中の小売からデジタルコマースまで、数千ものクライアントとパートナーシップを擁する Criteo は、企業がパフォーマンスと成長を促進するために必要なテクノロジー、ツール、インサイトを提供しています。※CRITEO 株式会社はその日本法人です。www.criteo.com/jp/